

趣味の園芸 4

クンシラン リーチキ科の多年草

わたしの花づくり

フジザクラ バラ科

木立ち性ペゴニア ペゴニア科

ピラカンサ バラ科

身近な野草 バラ科

スノシフィラム バラ科

● 11月号付録

記録のできる園芸カレンダー

ナス、トマト、キュウリ ナス科

ポインセチア ナス科

セッコク ナス科

花と緑のインテリア



スパシフィラム

大林修一 (園芸研究家)

4月22日放送 4月27日(再)

株分け



右手に持っているのが
スパシフィラム

厚みと光沢のある濃い緑の葉の中から、優雅な白い花(花苞)をのぞかせるスパシフィラムは、気品を感じさせてくれます。今回は、植え替え、株分けを中心に解説します。

スパシフィラムは、熱帯の中央アメリカを中心に自生するサトイモ科の植物です。左写真は一昨年の秋に、中米のコスタリカの密林の中に自生していたものです。欧米では以前からたいへんな人気がありますが、日本でも最近になってようやくそのよさが認められ、人気が上昇中です。その主な理由は、花もちがよいこと、一般家庭でも芳香のある花を周年咲かせることができること(15℃以上)、花がないときでも光沢のある葉は観葉植物として十分楽しめることなどが考えられます。また、スパシフィラムは病気や害虫にも比較的強く、寒さにも強

く(最低温度3℃以上)、丈夫で長もちする植物です。

■主な品種

スパシフィラムの品種はいろいろありますが、一般に出回っている品種は、タネでふやしたもので、多くのものが雑種で、よい性質のものが少ないというのが現状です。最近、日本で改良されたメリーとホワイトレディという品種が株分けなどで繁殖され、広く出回っています。また、アメリカから導入されたスペイン・ニールセンという品種もあります。

●メリー(左)

この品種は花立ちがよい。葉形はやや細く、花は丸形の純白色で、厚みがあるために形がくずれない。全体に立葉でスリムな感じがし、葉と花とのバランスが絶妙で、観賞価値が高い。

●スペイン・ニールセン(右)

アメリカから導入された品種。性質は、まだよくわからない点もあるが、小型系統で花苞の先端が淡緑色になる

●ホワイトレディ
メリーと同様に花立ちがよく、株立ち状になる。全体的に大型の系統で、丸形で光沢のある葉が特に美しい



植え替え、株分け

目的

新しく生えてくる葉が平均より小さかったり、普通に水を与えていても葉がしおれてきたり、根が表面に現れてきたり、鉢底からはみ出てきたりするような状態になると、俗にいう「根詰まり」「根傷み」の症状で生育は悪くなってきます。このようなときは植え替えをします。スパシフィラムは他の観葉植物に比べ、たいへん根の生育が盛んですから、毎年植え替えを行ったほうがよいでしょう。株をふやしたいときは、そのとき、株分けも同時に行いましょう。

適期

植え替え、株分けを行う時期は、外気温が上昇してくる4月下旬から6月下旬です。

作業のポイント

株を鉢から抜くとき、鉢と根が密着していてなかなか抜けないときがあります。そんなときは、鉢のへりを数か所たたき、鉢を傾け、少しずつ回しながら取り出します。間違っても株をつかみ、引っ張り出さないようにします。

株を大きく育てたいときは、植え替えを

行います。この場合は、株分けと異なり、もつれあった根をすきほぐし、長い根、枯れた根を切り落とします。そして、いままでの鉢よりも一〜二回り大きな鉢に植え替えます。

次に、株分けは根を傷めないように用土をすべてふるい落とし、分けていきます。その際、たくさんふやしたいときは1芽ずつ分けますが、3〜4芽がひとかたまりになるように分けたほうが活着、生育が早まります。

作業後の管理

植え替え、株分け後にはたっぷり水を与えます。置き場所は、どの程度に空中湿度を高められるかによって決まります。日当たりのよい窓辺は、葉の蒸散量が多くなるので、特に株分け直後は避けるようにしま



空中湿度を保つ方法



パーライトを入れた高さまで水を入れ、鉢に直接、水がつかないようにする

株をたくさんふやしたい場合

<p>5 株分け終わり。右側は1芽ずつ分けたもの、左側は3〜4芽でひとかたまりにしたもの</p>	<p>3 用土はすべて落とす</p>	<p>1 ふやしたい株(6号鉢)</p>
<p>6 3〜4芽の株は4号鉢に植えつけ(左)、1芽のものは3号のポットに植えつける(右)</p>	<p>4 株元をつかんで分ける</p>	<p>2 株を鉢から抜く</p>

大株で楽しみたい場合

<p>7 植え替え終わり</p>	<p>5 根の切り終わり</p>	<p>3 フォークなどで根をすきほぐす</p>	<p>1 根詰まりを起こした鉢(6号鉢)</p>
<p>根鉢は一寸一寸くずす 赤玉土 8 腐葉土 2 ゴロ土</p>	<p>6 一〜二回り大きな鉢(8号鉢)に植えつける</p>	<p>4 根は一寸一寸ぐらい切る</p>	<p>2 根がびっしり回っている</p>

すが、その後は直射日光が当たらないようなレースのカーテン越しの窓辺に置くと、鉢土の温度も上がり、植物の新陳代謝も盛んになるので、発根が早まります。

湿度を高める方法としては、大きな鉢皿にパーライトのようなものを敷き、鉢底に水がつかない程度に水を注ぎ、その上に鉢を置きます。また、1日に1〜2回、葉に霧水をすればなお結構です。新しい葉が伸び始めたら一般の管理を行います。

●美しく咲かせるための

年間の主な管理のポイント

■置き場

スパシフィラムは、順応性が高いので、室内のいろんな場所に置くことができます。しかし、花つきをよくするには、日当たりのよい明るい場所で、15℃以上あれば、管理しだいでは一年中開花させることが可能です。

■水やり

他の観葉植物と同様の水やりで、鉢土の表面が乾いたら鉢底から水が流れ出るくらいたっぷり与えます。季節によって鉢土の

乾き具合が異なりますので、水やりの間隔に違いがありますが、1回の水やりで与える量は同じです。なお、冬は、くみ置きの水を与え、やや乾かしぎみに管理し、葉面湿度を高めてやると、根に直接被害がなく、低温(3℃以上)でも越冬します。

■肥料

スパシフィラムの花は、リン酸分が少なくても開花するので、肥料は特に選びません。しかし、施しすぎると株が肥料を消化することができず、根を傷める原因になるので注意しましょう。施肥は5月から10月ごろまでの間に、市販の化成肥料(例・N・P・K 10・10・10)を、説明書に準じて施します。それ以外の月は、温度不足で生育が遅いので、標準量の $\frac{1}{2}$ 〜 $\frac{1}{3}$ ぐらいの量を、2〜3か月に1回程度の割合で施すだけでよいでしょう。

●講師紹介

大林 修一(おおおやし しゅういち)
昭和33年、愛知県生まれ。現在、観葉植物の生産と普及に従事し、3年前から新しい繁殖技術を導入。植物とのふれあいのすばらしさを、あらゆる人々に知ってもらいたいと願っています。

●切り花として楽しめるスパシフィラム

最近、スパシフィラムの花が結婚式の装飾にも使われるようになりました。家庭でも、一輪さし、盛り花として幅広い用途があります。花茎を株から切ったあと、水の中でもう一度切る「水切り」を行います。私の経験ではさし水には中性洗剤を2〜3滴落とせば、花もちもよくなります。

